

不撓不屈

ふとうふくつ

2015年4月28日、

東京・内幸町の帝国ホテル。阿部興業(東京都新宿区)の創立70周年記念式典会場は、国会議員や建具販売会社の役員ら約1100人でごった返していた。大勢の来場者は減る様子をみせない。「お客さまからの期待の高さをあらためて痛感した」と社長の阿部清光。清英の息子で専務の清光は初めて大勢の前であいさつし、「期待に応えていかねばならない」と話

阿部興業

①

普段使いの防火ドア

した。

大型開発案件採用

発案件にも多く採用されている。

阿部興業は木製の室内ドアや家具、建具などを製造販売し、施工も手がける。主なユーザーは戸建て住宅や集合住宅をはじめ、ホテル、旅館、工場、病院、事務所の内装など幅広い。製品の中で人気が高いのが、1991年に同社が国産第1号の認定を得た木製防火ドアだ。同社は20分間防火する防火設備認定品と、60分間防火する特定防火設備認定品の双方をラインアップし

東京・大手町で16年の完成が予定されている星野リゾートの「星のや」や、東京臨海地域のマンション、今年主要国首脳会議(サミット)が控える三重県志摩地域のホテルなどで、国内の大型開

野リゾートの「星のや」や、東京臨海地域のマンション、今年主要国首脳会議(サミット)が控える三重県志摩地域のホテルなどで、国内の大型開

市場に数多い選択肢提供

ている。デザインを豊富にそろえ、防音性能も付与した製品を用意するな

各国にファン

防火ドアといえは、90年代初頭までは、鉄製の

用途を一変。普段使いができる防火ドアという価値を生み出した。20年以上にわたるファ

は「さまざまな挑戦を重ね続け、顧客からの信頼を一つずつ積み重ねてきたからだ」と分析する。

RL= <http://www.abekogyo.co.jp>



昨年4月、創立70周年記念式典であいさつする阿部清光専務

重たいものばかりだった。阿部興業の木製防火ドアはそこに風穴を開けた。鉄製に比べて軽く、もともと燃えにくい木の性質を生かし、これまでの重たい見た目や限られてきた使

信頼の積み重ね

70周年を迎えられた理由について、社長の清英

の特性を生かした製品を一つずつ生み出してきた、業界や市場にこれまでにない選択肢を数多く提供し続けている。阿部興業に流れる挑戦のスピリット。それは創業者で清英の父、阿部清國が人生で培ってきたものだった。(敬称略)

▽所在地 東京都新宿区新宿1の7の10、03・3341・9021▽社長 阿部清英氏▽従業員 約250人(パート含む)▽設立 1945年(昭20)12月▽資本金 2億円▽売上高 1132億円(15年3月期)▽URL = <http://www.abekogyo.co.jp>